

事業名	若年末期がん患者に対する在宅支援事業
-----	--------------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	健康づくりの推進
	基本事業名	各世代に応じた保健事業の実施

② 実施 (Do)

事業の意図	患者及びその家族の負担軽減を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	市ホームページにて事業内容等の広報を行った。
	成果	令和6年度における利用申請はなかった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者を把握する方法として、医療機関や在宅訪問事業所に頼らざるを得ない状況にあり、現状を把握する上でも定期的な確認が必要である。 ・本事業に協力できるサービス事業所(島内7事業所)を県において把握し、情報提供してもらっているが、その全ての事業所は高齢者介護サービスが主であるため、本事業サービスを実施するにあたり、どこまで対応できるか不安な面がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の補助を受けての事業である。若年者のがん患者が住み慣れた場所で、自分らしく豊かに生活が送れるよう在宅生活を支援することは、がん患者及びその家族にとって、精神的・経済的な不安解消を図る観点からも重要な事業である。若年者であり介護サービスを受けられないことから、今後も引き続き本事業を実施していく予定である。 ・支援が必要な方が必要な時にしっかり受けられるよう、引き続き関連事業者との連携を密に図っていきたい。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	市民へ広く広報を行うとともに、関連機関と情報を密にしながら、いつでも対応できるように支援体制の充実を図る。
------------	---